

2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石原 卓 TEL 03-6415-1183
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	3,454	41.6	480	123.2	479	121.7	329	118.2
2022年9月期第3四半期	2,439	—	215	—	216	—	150	—

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 336百万円 (119.4%) 2022年9月期第3四半期 153百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	23.66	—
2022年9月期第3四半期	10.84	—

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年9月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	3,649	2,002	53.3
2022年9月期	2,571	1,616	62.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 1,945百万円 2022年9月期 1,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
2023年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	33.9	600	134.4	600	132.3	400	124.0	28.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ブランジスタエール、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	14,575,300株	2022年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	654,988株	2022年9月期	654,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	13,920,312株	2022年9月期3Q	13,920,046株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が緩和され、個人消費の持ち直しやインバウンド需要による景気回復が緩やかに見られる一方、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、ウクライナ情勢の長期化や物価上昇及び原油高、金融資本市場の変動等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、既存サービスの「電子雑誌」「ソリューション」に加え、2022年10月よりタレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を開始し、業容拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、事業開始以降「アクセルジャパン」の契約企業数が増加を続け、売上・利益の拡大を牽引し、業績が好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高3,454百万円（前年同四半期比41.6%増）、営業利益480百万円（同123.2%増）、経常利益479百万円（同121.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益329百万円（同118.2%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「アクセルジャパン」の提供を開始したことに伴い、報告セグメントを従来の「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントから、「プロモーション支援事業」「メディア事業」「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであり、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

[プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、事業開始以降「アクセルジャパン」の契約企業数が増加を続け、売上高、セグメント利益共に好調に推移いたしました。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高760百万円、セグメント利益282百万円となりました。

[メディア事業]

メディア事業では、無料で読める電子雑誌を制作・発行し、クライアント企業へ当社電子雑誌への広告掲載や、電子雑誌の制作受託といったサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、観光・外食需要の回復を背景に、主力電子雑誌「旅色」の地方自治体及び各地域の企業からの広告掲載売上が増加いたしました。

以上の結果、メディア事業は、売上高1,723百万円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益184百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

[ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等の各種ソリューションサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、通販サービスの縮小により売上高が減少したものの、広告宣伝費等の販管費が減少し、セグメント利益が増加いたしました。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高746百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益120百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,649百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,077百万円の増加となりました。当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

（流動資産）

流動資産は2,957百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,146百万円の増加となりました。これは主に、銀行からの借入や顧客からの入金により現金及び預金が836百万円増加したことや、売掛金が478百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

固定資産は691百万円となり、前連結会計年度末に比べて68百万円の減少となりました。これは主に、無形固定資産が12百万円増加したものの、繰延税金資産の減少により投資その他の資産が83百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

流動負債は1,233百万円となり、前連結会計年度末に比べて412百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加70百万円や、契約負債の増加60百万円、賞与引当金の増加73百万円があったことに加え、業容拡大に伴い買掛金や未払金等の仕入債務が増加したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は413百万円となり、前連結会計年度末に比べて278百万円の増加となりました。これは、銀行から長期借入を行ったことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は2,002百万円となり、前連結会計年度末に比べて386百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が329百万円増加したことに加え、(株)ブランジスタエール設立に伴い非支配株主持分が56百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年7月25日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	956,713	1,792,836
売掛金	620,346	1,098,618
前払費用	57,870	75,550
その他	218,424	43,340
貸倒引当金	△41,912	△52,849
流動資産合計	1,811,442	2,957,496
固定資産		
有形固定資産	23,495	26,035
無形固定資産		
その他	47,310	59,494
無形固定資産合計	47,310	59,494
投資その他の資産		
繰延税金資産	645,575	557,053
その他	44,150	49,279
投資その他の資産合計	689,725	606,333
固定資産合計	760,532	691,863
資産合計	2,571,974	3,649,359
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,117	126,346
短期借入金	331,111	401,566
未払金	96,151	164,782
未払法人税等	6,771	56,304
契約負債	217,951	278,607
預り金	45,279	22,093
賞与引当金	—	73,472
その他	8,389	109,976
流動負債合計	820,772	1,233,150
固定負債		
長期借入金	135,000	413,466
固定負債合計	135,000	413,466
負債合計	955,772	1,646,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,021,448	1,021,448
利益剰余金	462,948	792,364
自己株式	△493,361	△493,361
株主資本合計	1,612,087	1,941,504
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,114	4,268
その他の包括利益累計額合計	4,114	4,268
非支配株主持分	—	56,970
純資産合計	1,616,202	2,002,742
負債純資産合計	2,571,974	3,649,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,439,557	3,454,863
売上原価	673,981	985,299
売上総利益	1,765,575	2,469,564
販売費及び一般管理費	1,550,270	1,989,073
営業利益	215,305	480,490
営業外収益		
受取利息	13	22
受取給付金	1,570	317
還付金収入	1,804	734
雑収入	897	53
営業外収益合計	4,286	1,128
営業外費用		
支払利息	2,882	2,467
為替差損	559	5
営業外費用合計	3,442	2,472
経常利益	216,149	479,146
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	216,149	479,146
法人税、住民税及び事業税	2,616	54,238
法人税等調整額	62,583	88,521
法人税等合計	65,200	142,760
四半期純利益	150,948	336,386
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	6,970
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,948	329,416

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	150,948	336,386
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,473	154
その他の包括利益合計	2,473	154
四半期包括利益	153,421	336,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,421	329,570
非支配株主に係る四半期包括利益	—	6,970

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、(株)ブランジスタエールを新たに設立し、連結の範囲に含めております。

なお、当該連結の範囲の変更は、当第3四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることが確実であると認められ、影響の概要は、連結貸借対照表の総資産の増加、連結損益計算書の売上高等の増加であります。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション 支援事業	メディア 事業	ソリューション 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	—	1,516,044	766,302	2,282,347	157,210	2,439,557	—	2,439,557
外部顧客への売上高	—	1,516,044	766,302	2,282,347	157,210	2,439,557	—	2,439,557
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	68,437	68,437	△68,437	—
計	—	1,516,044	766,302	2,282,347	225,647	2,507,995	△68,437	2,439,557
セグメント利益	—	180,223	115,180	295,403	57,502	352,905	△137,600	215,305

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)Crowd Labにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△137,600千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーション 支援事業	メディア 事業	ソリューション 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	760,317	1,723,909	746,760	3,230,987	223,875	3,454,863	—	3,454,863
外部顧客への売上高	760,317	1,723,909	746,760	3,230,987	223,875	3,454,863	—	3,454,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	57,366	57,366	△57,366	—
計	760,317	1,723,909	746,760	3,230,987	281,242	3,512,229	△57,366	3,454,863
セグメント利益	282,323	184,279	120,540	587,143	51,933	639,076	△158,585	480,490

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)CrowdLabにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△158,585千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において(株)ブランジスタエールを設立し、「アクセルジャパン」を開始したことに伴い、業績管理体制を見直し、報告セグメントを従来の「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントから、「プロモーション支援事業」「メディア事業」「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。